



井口亮一 議員

予算編成

予算編成の基本方針は

「住環境の整備」「子育て支援」「安全安心な町づくり」

質問

平成24年度予算編成に当たり、基本方針、重点分野への優先配分などの戦略性、また駅前広場の整備や北口の開設など具体的に伺う。

答弁

町長 ①住環境の整備 ②子育て支援 ③安全安心な町づくりを考えています。また、厳しい財政状況の中でも常に意識しているところですが、駅前広場の整備や北口の開設についても、任期中には何とかその糸口だけでもと考えています。

収納率向上の取り組み

質問

埼玉県は全国的に、さらに当町は県下で下位に位置しており、公平な負担や自主財源の確保を考えると事態は深刻である。県は「税収確保対策推進本部」を設置し、取り組みの強化を進めている。町の収納率向上の取り組みについて伺う。

答弁

税務課長 滞納解消に向け、「滞納整理強化期間」の中で、文書催告や差し押さえ処分を行なうなど滞納整理を集中的に実施します。また、これらを広報に掲載したり、自家用車の差し押さえ例を写真入りで示すなど催告を強化しています。4月からは「特

別収納対策室」を設置します。

その他の質問

◎和紙、建具、地酒、絹や有機農産物などへの連携支援



催告書見本

質問

平成27年には高齢化率が29.3%となり、現実には子どもを除き大人1人で働いていない2人を支えなければならぬ。財政はもちろん、活力と魅力ある小川町を考える上で大きな問題。幅広い層の少子高齢化対策委員会を設置するべき。

答弁

政策推進課長 平成22年策定の次世代育成支援行動計画後期基本計画に沿った各種事業により、内容の充実を図っていきます。

ほほほ隊(ウオーキング)事業

質問

この事業は、費用がかからず、歩く楽しさの習慣づけ、コミュニケーション促進に役立ち、成人病予防に

貢献し、増え続ける医療費抑制になる。現在どんな取り組みをし、どんな成果があったか。

答弁

健康増進課長 各種町民ウォーキング会や各地区ほほほ隊活動を広報に掲載し、参加者を募集しています。成果は、生活習慣病予防、地域コミュニティ促進等で、大変有意義と考えています。

企業誘致

質問

健全財政構築のため、あらゆる情報収集を行ない、駅インターチェンジ、強固な地盤、すばらしい環境等をPRし、単独行動できる企業誘致室を早急に設置するべき。また誘致条例をつくるべき。

答弁

産業観光課長 産業誘致担当を設け、すでにホンダエンジン工場ほか、数社の誘致実績があり、今の体制で取り組んでいきます。また、企業は町のスピードディーナ対応等を求めているので、誘致条例は必要ありません。



小川ほほほ隊(下里地内)



ホンダエンジン工場

少子高齢化対策委員会の設置を

活力と魅力ある小川町を

次世代育成支援行動計画に沿って内容を充実



大戸久一 議員